

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-55°C ~ +125°C (95%RH MAX)	保存温度範囲	-55°C ~ +125°C (95%RH MAX)		
	電 力	— W		特性インピーダンス	50Ω (0.045 ~ 65GHz)	
	特 殊 性	-----		適合ケーブル	-----	
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構 造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		—	—	
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 16 mΩ以下 外部コネクタ 16 mΩ以下	○	○	
	絶 縁 抵 抗	DC250Vで測定する。	500 MΩ以上	○	○	
	耐 電 圧	AC250Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○	
	リターンロス	周波数 0.045 ~ 65 GHzにて測定する。	リターンロス 15dB以上 : 0.045 ~ 40 GHz リターンロス 10dB以上 : 40 ~ 65 GHz	○	○	
	挿 入 損 失	周波数 ~ GHzにて測定する。	dB以下	—	—	
	機 械 的 性 能	単 体 挿 抜 力	[SMPM側] φ0.32 ^{+0.0025} ₀ の鋼製ピンで測定する。	差込力 6.7 N以下 引抜力 N以上	○	—
[SMPM側] φ0.2896 ^{+0.0025} ₀ の鋼製ピンで測定する。			差込力 N以下 引抜力 0.1 N以上	—	—	
[HV側] φ0.495 ⁰ _{-0.005} の鋼製ピンで測定する。			差込力 N以下 引抜力 0.2 N以上	○	○	
総 合 挿 抜 力		適合コネクタで測定する。 [適合コネクタ : SMPMP (FD) -HVP]	差込力 26.7 N以下 引抜力 13.4 N以上	○	—	
繰 り 返 し 動 作		100 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コネクタ 28 mΩ以下 外部コネクタ 28 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
耐 振 性		周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で 3軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
耐 衝 撃 性		加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—	
ケーブルクランプ 部の引っ張り強度		N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損がないこと。	—	—	
環 境 的 性 能		温湿度サイクルの 耐湿性	温度 -10 ~ +65 °C, 湿度 90 ~ 98 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 100 MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: 500 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
		温度 サイクル	温度 -65 → — → +125 → — °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—	
△の数	訂正記事	設計	検図	年月日		
△						
備考			承認	MH. YAMANE	07.10.24	
RoHS指令適合品			検 図	TS. NOBE	07.10.22	
(旧図番 : CL0395-4950-3)			担 当	KT. MAKI	07.10.22	
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。			製 図	KT. MAKI	07.10.22	
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC4-313093-00			
HRS	製 品 規 格 表		製 品 名		SMPMJ-HVJ	
	ヒロセ電機株式会社		製 品 コー ド		CL311-0421-7-00	
					△ 1/1	